

6 展開

時	学習活動	教師の主な発問と児童の反応	支援☆と評価◎
導入 5	1 家でのお手伝いについて発表する。	<p>〔家で自分の仕事としてやっていることがありますか。〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日やっていることは茶碗運びです。 ・時々、洗濯物干しをするよ。 ・お皿配りかな。 ・玄関そうじをするよ。 	<p>☆家でやっている手伝いについて事前にアンケートしたものを表にする。</p> <p>☆価値への方向付けをする。</p>
展開 35	2 資料「お母さんとの約束」を聞いて話し合う。	<p>〔登校中、重いごみ袋を持ってごみ出しに行く「ぼく」はどんな気持ちだったのでしょうか。〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ袋って重いな。 ・じろじろ見られたり、わらわれて恥ずかしいな。 ・あんな約束しなければよかった。 ・いやだな。 ・今度からはしたくないな。でも… ・お母さんは大変なんだから、ぼくがしなくちゃ。 <p>〔年をとったおばあさんといっしょにごみの片づけをした「ぼく」はどんなことを考えたでしょう。〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初はいやだったけどほめられてうれしい。 ・おばあちゃんありがとう。 ・うれしいな。ぼくもがんばらなくっちゃ。 	<p>☆「ぼく」がお母さんと約束したことを押さえ、実際に仕事をして味わうつらさと約束を守ろうとする気持ちとの葛藤に十分共感できるようにする。</p> <p>☆見ていくだけの人もいる中で、がんばっていることを認めてもらえる喜びに気づくことができるようにする。</p>
	◎あせびっしょりになって、学校に着いた「ぼく」はどんな気持ちだったでしょう。	<ul style="list-style-type: none"> ・つかれたな。 ・手がくさくなかったけど、やってよかったな。 ・きれいになって、すかっとしたよ。 ・なんだかすっきりしたよ。 	<p>☆進んで働いた後のすがすがしい気持ちを感じ取らせたい。</p> <p>◎進んで働くことの喜び、爽快感に気づく。 【発表】</p>
	3 自分のことを考える。	<p>〔「ぼく」のように、自分から進んで働いたことはありますか。その時感じた事を書いてみましょう。〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭でのお手伝い。 ・資源回収でのこと。 ・学校生活の中での係活動・当番活動のこと。 	<p>☆勤労体験で得た成就感を確認し、これからの生活の中で進んで働く意欲をもつことができるようにする。</p>
終末 5	4 友達の作文を聞く。	<p>〔ごみ0運動のことについて書いた作文を読みます。〕</p>	<p>☆働くことの成就感を感じるができるような作文を範読する。</p>

7 資料分析

登場人物の言動	登場人物の心情判断	道徳的価値	主な発問とその意図
<ul style="list-style-type: none"> お母さんがもうすぐ赤ちゃんを産む時のこと。 お母さんが重い物を持っていないので、ぼくは週三回の朝のごみ捨てを引き受けた。 朝、重いごみ袋を両手に持って登校する。他の子がじろじろ見たり、ひそひそ何か言ったり、ケラケラ笑ったりする。 でも「お手伝い、お願いね。」といわれると運んでしまう。 ある日、ごみ捨て置き場に行くにごみが散らばっていた。 散らばっているごみを一か所に片づけていた。 年をとったおばあさんが丸いせなかをますます曲げて手伝ってくれた。「あんた、小さいのにえらいな。」「おばあさん、ぼくがするからいいよ。」 全速力で学校まで走り、あせびっしょりになった。石けんで手をごしごし洗った。 何ヶ月かして弟が生まれた。今ではごみ捨てがぼくの手伝いになり、ごみ捨て置き場のそうじもぼくの仕事になった。 	<ul style="list-style-type: none"> うれしいな。きょうだいができるんだ。 お母さんの代わりにがんばるぞ。任せてね。 ごみ袋って重いな。 じろじろ見られたり、笑われたりして恥ずかしいな。 あんな約束しなければよかった。 仕方ないな。 お母さんは大変なんだからぼくがしなくっちゃ。 収集車のおじさんが車に乗せるのが大変だな。 汚いな。だれがしたのかな。 学校に行かないといけないのに…。 自分から進んで手伝ってくれる人がいるんだな。 おばあちゃん、ありがとう。 うれしいな。 ぼくもがんばらなくっちゃ。 急がなくっちゃ。 疲れたな。 すかつとしたな。 やってよかったな。 きれいになって気持ちいいな。 ごみ出しの仕事は任せてね。 進んでお手伝いするぞ。 続けてがんばろう。 	<div style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">喜び 自信</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">後悔 恥ずかしさ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">責任感</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">迷い</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">うれしさ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">働く喜び 爽快感 成就感</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">決意</div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○登校中、重いごみ袋を持ってごみ出しに行く「ぼく」はどんな気持ちだったでしょう。 ・お母さんとの約束と仕事のつらさとの葛藤に共感させたい。 ○年をとったおばあさんと一緒にごみの片づけをした「ぼく」はどんな気持ちだったでしょう。 ・がんばっていることを認めてもらえる喜びに気づかせたい。 ◎あせびっしょりになって、学校に着いた「ぼく」はどんな気持ちだったでしょう。 ・進んで働いた後のすがすがしい気持ちを感じ取らせたい

進んで働く

～お母さんと約束～

4年

◎「ぼく」のように、自分からすすんで働いたことがありますか。その時の様子や思ったことを書きましょう。

A large rectangular area with a dashed border, intended for writing. It contains eight horizontal dashed lines for writing.